



Better Health, Brighter Future

会社名 武田薬品工業株式会社  
代表者 代表取締役社長 CEO ジュリー・キム  
(コード番号 4502 東証プライム市場)

## News Release

報道関係問合せ先 グローバル コーポレート アフェアーズ  
完戸 綾 070-2819-9041  
E-mail: aya.shishido@takeda.com

2026年6月24日

### 取締役分掌等の決定およびジュリー・キムの代表取締役 社長 CEO 就任について

- 第150回定時株主総会での株主の皆さまからのご承認を経て、取締役会はジュリー・キムを代表取締役 社長 CEO に選定
- 新任取締役の就任および取締役分掌を発表

武田薬品工業株式会社 ([TSE: 4502/NYSE: TAK](https://www.takeda.com)) は、本日、18カ月にわたる CEO 交代プロセスを終え、ジュリー・キムが代表取締役 社長 CEO に正式に就任しましたのでお知らせします。

本日、大阪市内で開催した第150回定時株主総会において、ジュリー・キムは新任の社内取締役として選任されました。同総会終了後に開催された取締役会において、同氏は代表取締役 社長 CEO に選定されました。なお、同総会の終結の時をもって、前代表取締役 社長 CEO のクリストフ・ウェバーは当社および当社の取締役会を退任いたしました。

当社の取締役会議長の飯島 彰己は次のように述べています。

「タケダの取締役会を代表して、ジュリー・キム氏の代表取締役 社長 CEO 就任を心より歓迎します。取締役会は、キム氏の卓越したリーダーシップの下、タケダが今後、大いに期待を寄せている複数の新製品上市を成功させ、長期的な株主価値向上を実現するものと確信しています。また、過去12年にわたりタケダの発展に多大な貢献をされたクリストフ・ウェバー氏に深く感謝申し上げます。同氏はグローバル事業基盤の拡大と革新的なパイプラインの構築を実現するとともに、誠実さを礎とする企業としてのタケダの社会的評価向上にも大きく寄与しました。同氏の今後のご活躍を心より祈念しています。」

当社代表取締役 社長 CEO のジュリー・キムは次のように述べています。

「このたび、タケダを率いる機会をいただき、患者さんへのさらなる貢献と持続的な利益成長に取り組めることを大変光栄に思います。これまで12年にわたりタケダを導き、直近では CEO 交代のプロセスにおいて、多くの助言と支援をくださったクリストフに深く御礼申し上げます。また、株主の皆さま、飯島氏、ならびにこのたび退任された6名の社外取締役の方々を含む取締役会のご支援に心より感謝いたします。新たに承認された取締役会の下、協働して患者さんおよびステークホルダーの皆さまへの価値創出に向けた重要な取り組みを引き続き推進してまいります。タケダが新たな時代へと進む中、私たちは今後12カ月で3つの主要な新製品上市を見込んでいるほか、さらに5つの後期開発品をはじめ、革新的で強固なパイプラインも着実に進展させていきます。私たちは、2つの戦略的な成長段階に基づく成長戦略を通じ、患者さん、従業員および株主の皆さまに、持続的な価値を創出してまいります。」

ジュリー・キムは、30年以上にわたるグローバルヘルスケア分野での経験を有し、イノベーションの推進と、患者さんや地域社会に向けた革新的な医薬品へのアクセス拡大に貢献してきました。2019

年にシャイアー社の買収に伴い当社に入社後、プラズマ デライブド セラピーズ ビジネスユニット プレジデントおよび U.S.ビジネスユニット プレジデントなどを歴任し、2025 年に次期 CEO に指名されました。同氏の詳細な略歴は、[当社ウェブサイト](#)および添付をご参照ください。

加えて、当社の次なる成長に向け、第 150 回定時株主総会において、ブルース・ブルサード氏、木村 浩一郎氏、ポール・ストフェルス博士の新任社外取締役 3 名を含む取締役が選任されました。

- ブルース・ブルサード氏は、大規模なグローバル企業における経営トップとしての豊富な経験に加え、国際的な経営管理および米国ヘルスケア分野に関する深い知見を有しています。
- 木村 浩一郎氏は、PwC Japan グループ元代表として、アジア太平洋地域における地政学リスクおよびコーポレートガバナンスに関する豊富な経験を有しています。
- ポール・ストフェルス博士は、ジョンソン・エンド・ジョンソン社の最高科学責任者 (CSO) およびバイオテクノロジー企業の Galapagos 社 CEO として、25 の医薬品のグローバル上市を主導した実績を有し、医薬品研究開発における卓越した経験を備えています。

第 150 回定時株主総会後に開催された取締役会および監査等委員会において、取締役分掌等を決定しました。当社の取締役会は全 11 名のうち 8 名が社外取締役で構成されており、透明性と客観性を確保しています。また、当社の取締役会は、社外取締役が引き続き議長を務め、監査等委員会ならびに取締役会の任意の諮問委員会である指名委員会および報酬委員会は、いずれも委員長を含めて社外取締役のみで構成されます。

### 1. 監査等委員でない取締役(2026 年 6 月 24 日付)

氏名	区分	役職
ジュリー・キム	社内 / 新任	代表取締役 社長 CEO
古田 未来乃	社内 / 再任	取締役 チーフ フィナンシャル オフィサー
アンドリュース・プランプ	社内 / 再任	取締役 リサーチ & デベロップメント プレジデント
飯島 彰己	社外 / 再任	社外取締役 取締役会議長
スティーブン・ギリス	社外 / 再任	社外取締役
ジョン・マラガノア	社外 / 再任	社外取締役
ポール・ストフェルス*	社外 / 新任	社外取締役
津坂 美樹	社外 / 再任	社外取締役

\* ポール・ストフェルス氏は、補欠の監査等委員である取締役でもあります。

### 2. 監査等委員である取締役(2026 年 6 月 24 日付)

氏名	区分	役職
木村 浩一郎	社外 / 新任	社外取締役 監査等委員会委員長
ブルース・ブルサード	社外 / 新任	社外取締役 監査等委員
キンバリー・リード	社外 / 再任	社外取締役 監査等委員

### 3. 取締役会の任意の諮問委員会である指名委員会および報酬委員会の委員(2026 年 6 月 24 日付)

- 指名委員会: 飯島 彰己 (委員長)、スティーブン・ギリス、木村 浩一郎、ジュリー・キム (オブザーバー)
- 報酬委員会: ジョン・マラガノア (委員長)、飯島 彰己、キンバリー・リード、津坂 美樹

## <武田薬品について>

武田薬品工業株式会社([TSE:4502/NYSE:TAK](https://www.takeda.com/jp))は、世界中の人々の健康と、輝かしい未来に貢献することを目指しています。消化器系・炎症性疾患、希少疾患、血漿分画製剤、オンコロジー(がん)、ニューロサイエンス(神経精神疾患)、ワクチンといった主要な疾患領域および事業分野において、革新的な医薬品の創出に向けて取り組んでいます。パートナーとともに、強固かつ多様なパイプラインを構築することで新たな治療選択肢をお届けし、患者さんの生活の質の向上に貢献できるよう活動しています。武田薬品は、日本に本社を置き、自らの企業理念に基づき患者さんを中心に考えるというバリュー(価値観)を根幹とする、研究開発型のバイオ医薬品のリーディングカンパニーです。2世紀以上にわたり形作られてきた価値観に基づき、社会における存在意義(パーパス)を果たすため、約 80 の国と地域で活動しています。詳細については、<https://www.takeda.com/jp/>をご覧ください。

## <重要な注意事項>

本注意事項において、「ニュースリリース」とは、本ニュースリリースに関して武田薬品工業株式会社(以下、「武田薬品」)によって説明又は配布された本書類並びに一切の口頭のプレゼンテーション、質疑応答及び書面又は口頭の資料を意味します。本ニュースリリース(それに関する口頭の説明及び質疑応答を含みます)は、いかなる法域においても、いかなる有価証券の購入、取得、申込み、交換、売却その他の処分の提案、案内若しくは勧誘又はいかなる投票若しくは承認の勧誘のいずれの一部を構成、表明又は形成するものではなく、またこれを行うことを意図しておりません。本ニュースリリースにより株式又は有価証券の募集を公に行うものではありません。米国 1933 年証券法の登録又は登録免除の要件に基づいて行うものを除き、米国において有価証券の募集は行われません。本ニュースリリースは、(投資、取得、処分その他の取引の検討のためではなく)情報提供のみを目的として受領者により使用されるという条件の下で(受領者に対して提供される追加情報と共に)提供されております。当該制限を遵守しなかった場合には、適用のある証券法違反となる可能性があります。

武田薬品が直接的に、又は間接的に投資している会社は別々の会社になります。本ニュースリリースにおいて、「武田薬品」という用語は、武田薬品及びその子会社全般を参照するものとして便宜上使われていることがあります。同様に、「当社(we、us 及び our)」という用語は、子会社全般又はそこで勤務する者を参照していることもあり得ます。これらの用語は、特定の会社を明らかにすることが有益な目的を与えない場合に用いられることもあり得ます。

本ニュースリリースに記載されている製品名は、武田薬品又は各所有者の商標又は登録商標です。

## <将来に関する見通し情報>

本ニュースリリースに関して配布された資料には、武田薬品の見積もり、予測、目標及び計画を含む武田薬品の将来の事業、将来のポジション及び業績に関する将来見通し情報、理念又は見解が含まれています。将来見通し情報は、「目標にする(targets)」、「計画する(plans)」、「信じる(believes)」、「望む(hopes)」、「継続する(continues)」、「期待する(expects)」、「めざす(aims)」、「意図する(intends)」、「確実にする(ensures)」、「だろう(will)」、「かもしれない(may)」、「すべきであろう(should)」、「であろう(would)」、「かもしれない(could)」、「予想される(anticipates)」、「見込む(estimates)」、「予想する(projects)」、「予測する(forecasts)」、「見通し(outlook)」などの用語若しくは同様の表現又はそれらの否定表現を含むことが多いですが、それに限られるものではありません。

これら将来見通し情報は、多くの重要な要因に関する前提に基づいており、実際の結果は、将来見通し情報において明示又は暗示された将来の結果とは大きく異なる可能性があります。その重要な要因には、日本及び米国の一般的な経済条件並びに国際貿易関係に関する状況を含む武田薬品のグローバルな事業を取り巻く経済状況、競合製品の出現と開発、薬価、税金、関税その他の貿易関連規則を含む関連法規の変更、臨床的成功及び規制当局による判断とその時期の不確実性を含む新製品開発に内在する困難、新製品及び既存製品の商業的成功の不確実性、製造における困難又は遅延、金利及び為替の変動、市場で販売された製品又は候補製品の安全性又は有効性に関するクレーム又は懸念、新規コロナウイルス・パンデミックのような健康危機、温室効果ガス排出量の削減又はその他環境目標の達成を可能にする武田薬品の環境・サステナビリティに対する取り組みの成功、人工知能(AI)を含むデジタル技術の統合をはじめとする、業務効率化、生産性向上又はコスト削減に向けた武田薬品の取り組み、その他の事業再編に向けた取り組みが、期待されるベネフィットに寄与する程度、武田薬品のウェブサイト(<https://www.takeda.com/jp/investors/sec-filings-and-security-reports/>)又は [www.sec.gov](http://www.sec.gov) において閲覧可能な米国証券取引委員会に提出した Form 20-F による最新の年次報告書並びに武田薬品の他の報告書において特定されたその他の要因が含まれます。武田薬品は、法律や証券取引所の規則により要請される場合を除き、本ニュースリリースに含まれる、又は武田薬品が提示するいかなる将来見通し情報を更新する義務を負うものではありません。過去の実績は将来の経営結果の指針とはならず、また、本ニュースリリースにおける武田薬品の経営結果及び情報は武田薬品の将来の経営結果を示すものではなく、また、その予測、予想、保証又は見積もりではありません。

以上

(添付)

1. 新任代表取締役の略歴等

生年月日	略歴	所有 ADS 数*	
1970年6月6日	2016年6月	シャイアー社入社	173,773 ADS
	2016年6月	同社 インターナショナル バリューデモンストレーション&アクセスヘッド	
	2018年5月	同社 グローバル ヘマトロジーフランチャイズヘッド	
	2019年1月	当社入社	
	2019年1月	プラズマ デライブド セラピーズ ビジネスユニット プレジデント	
	2022年4月	U.S. ビジネスユニットプレジデントおよび U.S. カントリーヘッド	
	2025年8月	U.S. ビジネスユニットプレジデント、U.S. カントリーヘッドおよびグローバル ポートフォリオ デイビジョン インテリム ヘッド	
	2025年9月	Takeda Pharmaceuticals U.S.A., Inc. 取締役 CEO(現任)	
	2025年11月	グローバル ポートフォリオ デイビジョン インテリム ヘッド	
	2026年1月	次期 CEO	
	2026年6月	代表取締役 社長 CEO(現任)	

\* 本報告日において当社普通株式は所有していません。